

令和4年度 子ども大学くき

1 実施体制

子ども大学くき	学長	柏木 俊彦（平成国際大学学長）
	副学長	柿沼 光夫（久喜市教育委員会教育長）
子ども大学くき実行委員会	実行委員長	会田 篤（久喜青年会議所理事長）
	実行委員 （関係団体）	平成国際大学、久喜青年会議所、 久喜市教育委員会

2 事業内容

開催期間	令和4年10月23日、11月3日、11月23日、12月11日			
参加者数等	定員	50名	応募者数	46名
	参加者数	4年20名	修了者数	4年20名
		5年15名		5年15名
		6年11名		6年11名

3 実施内容

1日目	開催日時	10月23日（日） 10:00～12:30	写真  正しい走り方を教わりました。
	会場	平成国際大学	
	講義名	「走り方教室 目指せスプリンター」	
はてな学	講師	平成国際大学 陸上競技部監督 平田 卓朗	
	開催日時	11月3日（木） 10:00～11:00	写真  日本は人にやさしい国なんだ！
	会場	平成国際大学	
講義名	「人にやさしい国、きびしい国」		
はてな学	講師	平成国際大学教授 浅野 和生	

2日目	開催日時	11月3日(木) 11:00~12:00	写真  ウエイトリフティングに挑戦しました!
	会場	平成国際大学	
	講義名	「われら HIU (エイチ アイ ユー) 探検隊!」	
生き方学	講師	平成国際大学の学生	
	開催日時	11月23日(水) 10:00~12:30	写真  本物の縄文土器で拓本を採りました。
	会場	生涯学習施設「まなびすポット」	
講義名	「縄文土器に学ぶ」 —拓本をとってみよう—		
はてな学 ふるさと学	講師	郷土資料館 主任兼学芸員 竹内 俊吾	
	開催日時	12月11日(日) 9:30~12:00	写真  クリスマスにぴったりの作品になりました
	会場	生涯学習施設「まなびすポット」	
講義名	「クリスマスリース&キャンドル制作」 ~クリスマスを五感で楽しもう~		
生き方学 はてな学	講師	フラワーセラピスト・花育士 加藤 陽子 VMD コーディネーター 石井 敦子	

4 新型コロナウイルス感染症対策 (工夫した点や苦慮した点など)

- ・ 受付時の体温の測定と手指の消毒
- ・ 適正なマスク着用の呼びかけ
- ・ 十分なソーシャルディスタンスの確保
- ・ 屋内での講義・実習での換気の徹底

5 参加者の声

参加した子供の声（感想）

（1日目）・いつもスタートで出遅れてしまうことが多かったけれど、この授業のおかげでスタートダッシュもはやく出来るようになりました。

- ・学校の体育では学ぶことができない、スタートの仕方がよく分かりました。今後の体育の授業や来年の運動会にも活かせると思いました。
- ・走り方をしっかりと教えてもらえて良かったです。自分でも速くなったと感じたので学校の50m走ではタイムが上がっているといいです。
- ・スタートダッシュがうまくできるようになってよかったです。いつもよりがんばれました。最後のももを上げてからジャンプするのが、とても難しかったです。
- ・スタンディングスタートのときに後ろの足の位置が曖昧だったのでわかってよかったです。また、平成国際大学の監督が全日本選手権で優勝していたことや大学一年生の人が100Mを10秒台で走ることがすごいと思いました。あと、陸上部のみなさんに優しく指導していただいたことを大変うれしく思っています。

（2日目 講座）・人に優しい国と厳しい国があることを知れて、もっと知りたいと思いました。

- ・自分の国がこんなに自由だったんだなと思いました。自分的に親や先生などの話を聞いたりするのが嫌だなと思う時があったけれど中国は自分の意見も言えないと知り日本っていい国だなと思いました。
- ・世界に、自由な国が少ししかないことに驚きました。また、中国では、街中や教室内に監視カメラがあってずっと監視されていることや、国に対しての不満を言うてはいけないこと、宗教が規制されていることを知って衝撃を受けました。
- ・各国の自由度を見たときに、日本が98点だということがわかりました。また、北朝鮮は3点だったのでびっくりしました。
- ・人に優しい国と厳しい国の違いを知り、日本の点数を知ることができました。日本の点数は100点じゃなかったので、日本の点数を100に近づけるようにはどうすればいいのかを考えるきっかけになりました。

（2日目 キャンパス探検）・普段いくことのできない大学内の図書館や、トレーニングルームなどを探検できました。

- ・バーベルを持ち上げていたのがすごかった。
- ・全然小学校とは違う大学のキャンパスを見学できて、珍しいものも見れて案内してくれた大学生の人たちが優しく、すぐ仲良くなれてものすごく嬉しかった。
- ・大学のことがわかりました。お姉さんが説明をしてくれたので、わかりやすかったです。今までで一番面白かったです。
- ・ごはんを食べる所は広いのに、チャイムがなったら走ってくるから席がなくなると聞いたのでちょっとおもしろかったです。

（3日目）・拓本には乾拓と湿拓の二つのやり方があることを初めて知りました。

	<ul style="list-style-type: none"> ・土器に触れるという貴重な体験ができ、縄文時代の様子や様々なことが詳しくわかりました。実際に拓本を取れてとても楽しかったし、嬉しかったです。また、お金の拓本を取るのもとても楽しかったです。 ・土器は粘土で作られているのに驚きました。、今から1万3000年前から、2500年前までが、縄文時代だったことを初めて知りました。 ・何万年も前の方がこんな技術をもっているのが一番驚きました。また、犬も一緒に、狩りをしていたことを知りました。今と昔では、色んな所が違っていると知りました。 ・何千年も前は、栗橋の方は、海だったことがびっくりしました。一つの遺跡からたくさんの土器が出たことが、今日一番の勉強になりました。” ・縄文土器の拓本を作ったり、昔の貴重なお金の乾拓を作ったりとても楽しかったです。 <p>(4日目)・作るのが簡単で、自分の好みの色のアロマキャンドルを作ることができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラッシュがとても気持ちよく、綺麗にできました。アロマをつけて、とってもいい匂いのキャンドルができました。ろうそくに火をつけて楽しめるクリスマスにピッタリの飾りを作ることができました。 ・初めてキャンドル作りをしました。完成後、紙コップを破く時が一番ワクワクしました。なぜなら、どんな色になっているか破くまでのお楽しみだったからです。また家でも、キャンドル作りにチャレンジしてみたいです。今度は、シリコンなどの形でもできるか、実験してみたいと思います。ありがとうございました。 ・リースを作るのは初めてで、飾りを選んでつけるのが楽しかったです。 ・「クジャクヒバ」を切り、新聞紙の輪ゴムに刺すのが楽しかったです。「クジャクヒバ」は、個人的に好きな匂いで、ちょっぴり硬くて、でもフサフサしてて、面白い植物だなあ、と思いました。私は、朝、3Dプリンターで飾りを作ってきました。かっこいい飾りが作れたので、「リースに合うかなあ」と思っていたところで、私の作品をほめてくださり、ありがとうございました。自分の作品に自信を持つことができました。 ・本物の木を使ったリースは初めてで、難しいけれど楽しかったです。家で仕上げをやりました。家に飾ったらとてもきれいに見えたし、クリスマスにピッタリだったので、作ってよかったなと思います。
<p>保護者の声 (感想)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人見知りで、仲の良い友達がいないと、新しいことに入るのを嫌がる子でしたが、全日程嫌がることもなく参加でき、成長を感じました。普段入ることのない大学での講義もとてもよい機会になりました。職業体験のような内容も面白いそうだと思います。来年もぜひ参加させたいと思いました。 ・考え方が世界に向かうなど、意識が広がった気がする。走り方教室は継続してほしい。 ・4日間ありがとうございました。身近にある素材を使った防災グッズが作れたらいいです。違う学校や学年の子と、いろいろな体験ができ、良い思い出になったと思います。 ・今までよりも自主的に行動できるようになったと感じました。学校とは違った学びの機会を与えてもらって、親子共に充実した時間を過ごせました。英語の活動があればいいなと思いま

した。

・今年も楽しい時間を過ごせたようでした。難しい講義もありましたが、普段とは違う授業を経験させていただき親としては、良かったです。陶芸（絵付け）とかできたら楽しそうかなと思います。

・このような機会を設けてくださってありがとうございました。色々な経験をさせたいと思っ
ていながらも、個人ではなかなか難しかったりもするので、毎回趣向を凝らした内容で子ども
自身も刺激になったと思います。大学での講義や体験はまたやって欲しいと思います。食育関
係の座学や実技などもよいのではないかと思います。